



2008年9月21日

いま起きつつあること…

といつても、エイリアンではない。もっと現実的に、私たちの平和が脅かされているのです。先の国会で、十分な審議もまま可決されてしまった「宇宙基本法」。

表面的には、政府が宇宙開発と宇宙空間の利用を、責任と計画性とをもって行なつていくという法律。人工衛星の機能不全や国産ロケット打ち上げ失敗など、日本の宇宙開発は、どうも湿りがち。国際的な技術開発・宇宙産業ビジネス競争に遅れを取らぬよう、政策を転換しようといつ

「宇宙基本法」について?

といつても、エイリアンではない。もっと現実的に、私たちの平和が脅かされているのです。先の国会で、十分な審議もまま可決されてしまった「宇宙基本法」。

安全保障のため?

「この00の年に衆議院本会議の全会一致の決議によって、宇宙の開発および利用は、「平和の目的に限り、学術の進歩、国民生活の向上及び社会の福祉をはかり、あわせて産業技術の発展に寄与するとともに、国際協力に資するため」

知らないうちに!

平和憲法の条を持ちなが
ら、軍事利用を認める宇宙開
発……「こんな」とが多数の国
民の知らないうちに、決めら
れてしまった。国連宇宙条約
では「自衛の範囲の軍事利用
は禁じていない」ものの、自
衛という言葉が拡大解釈され
てしまう危険については歴史
が語っています。

私たちが宇宙に求めるもの
は、何でしょうか?

期待する宇宙からの眺め

宇宙からの 侵略!?

わけです。

そこに出でたのが、宇宙利用を平和目的に限つてきた法律の制限を取り払い、技術開発や産業ビジネスを推進していく「う」という動き。けれども、「これは、宇宙政策だけではなく、わが国の「安全保障」にも重大な転換をもたらす新法なのです。

と、公開原則を捨て去つて秘密裏の宇宙開発、軍事運用を許す内容となつてるのであります。

* 宇宙基本法
2008年5月21日、参院本会議において、自公・民賛成により成立。この背景には、自衛隊の海外展開、軍事即応体制(ミサイル防衛システム)を支える、「自律的宇宙インフラ」を整備しようという狙いがある。

- ◇参考ホームページ>
- ◇自民・公明・民主賛成による「宇宙基本法成立に断固抗議する!」
<http://www.jca.apc.org/stopUSwar/Japanmilitarism/japn080522.htm>
- ◇石附(いしづき)澄夫「宇宙基本法案」宇宙軍事化への危機
<http://homepage2.nifty.com/>

ところが「のたび、「宇宙開発は…安全保障に資するよう行われなければならない」とする宇宙基本法が制定されたのです。さらに「宇宙開発に関する情報の適切な管理のため」に必要な施策を講ずる

とか、軍艦の動きとかではないと思います。国家が帝国主義的に国益を求める出しどとき、人民の平和はないがしろにされるのです。